



## アキラ地雷博物館 (The Cambodia Landmine Museum)

### アキラ地雷博物館 日本人応援団

シェムリアップ郊外、バンテアイスレイ遺跡近くのクナーサンダイ村(KHNA SANDAY VILLAGE)にある「アキラ地雷博物館」は、カンボジアの地雷撤去のスペシャリストであるアキ・ラー氏が運営する博物館として知られています。

1999年の博物館開設以降、国内外の多くの人に地雷の怖さ、戦争の悲惨さを訴え続けています。



### ■ 地雷撤去のスペシャリスト、アキ・ラー氏

現在46歳のアキ・ラー氏は、内戦時代に少年兵として過ごした10歳～20歳の頃、多くの地雷の埋設を命じられ、多くの人々を苦しめて来ました。その償いの思いから20歳過ぎより地雷撤去のための活動を開始し、2008年には「CSHD」と言うNGO団体を立ち上げ、現在も36人の部下と共に地雷撤去活動を続けています。

また、館内のリリーフ・センターにて地雷被害者や戦争孤児を始めとする多くの子供達の養育も行っています。

アキ・ラー氏の活動は日本でもテレビなどのメディアにも度々取り上げられるだけでなく、書籍や教科書などでも紹介されています。またアメリカのCNNが選ぶ「CNN HERO TOP10 2010」にも選出されるなど、その活動は世界的に高く評価されています。

※「CNN HERO TOP10 2010」動画 <https://www.youtube.com/watch?v=qx4Bz2lZWmg>



▲ アキ・ラー氏

### (プロフィール)

1973年生まれ

1975年 両親と引き離され、国を支配するクメール・ルージュの施設「子どもグループ」の中で育てられる。(少年兵育成)

1978年 国を支配するクメール・ルージュにより両親殺害。

1983年 少年兵として実弾入りの銃による射撃、地雷埋設の訓練を受ける。

1986年 この国に侵攻するベトナム軍の捕虜となる。以降、ベトナム兵としてそれまで仲間だったクメール・ルージュと戦うこととなる。

1989年 ベトナム軍がカンボジアを去ったため、ベトナム軍の友軍であるカンボジア軍に入れられ、クメール・ルージュと戦う。

1991年 カンボジア内戦終結。

1993年 カンボジアの平和維持活動を行うUNTAC(国連カンボジア暫定統治機構)に参加し、地雷撤去活動を開始。

このとき「これまで数多くの地雷を埋め大勢の人を傷つけ苦しめてきた償いとして、一生を懸けて地雷撤去に取り組み、この国を平和にするためにこれからの自分の一生を捧げよう」と決心。

以降、独学で英語や日本語を勉強し、また地雷撤去作業の他、ガイドの仕事を行いながら資金を貯め、1999年に資金を投じシェムリアップから5～6kmの地に、最初の「アキラ地雷博物館」を開設。

2006年 博物館の撤去移動命令により、博物館閉鎖。

2007年 カナダ人のフォトジャーナリスト・リチャード氏により、カナダに設立されたNGO団体「CLMMRF」資金協力の下、新たに博物館をオープン。

2008年 カンボジアに政府認可のNGO団体「CSHD」を設立。

現在も多くの隊員と共に地雷撤去活動を続けています。

## ■ 地雷博物館、館内ご紹介

地雷博物館館内には、アキ・ラー氏自らが撤去した地雷のほか、内戦時に実際に使用されていた武器や戦闘の光景を再現したものが展示されています。また地雷の撤去方法から内戦の歴史などを日本語で説明したパネルもあります。



▲ 博物館正面入口



▲ 博物館の入口に掲揚される「日の丸」



▲ 博物館内



▲ 昔の「義足」



▲ 内戦時の戦闘の光景が再現されている



▲ 館内には日本語の案内パネルも用意されている



▲ 博物館を紹介した日本の新聞記事や雑誌などの切り抜きの他にも、博物館が紹介されている教科書の実物も置かれている



▲ 館内のリリーフ・センターでは、戦争孤児を始めとする多くの子供達の養育も行っている



▲ アキ・ラー氏自らが撤去した地雷

## ★ アキラ地雷博物館 (The Cambodia Landmine Museum)

営業時間: 毎日 07:30~17:30

入場料: お一人様 US\$5、10歳未満の子供は無料

その他: 音声ガイドは日本語(15台)と英語対応の2種類

詳細: 博物館公式サイト <http://www.cambodialandminemuseum.org/> (英語)



現場にて撤去された▶ 対人地雷

## ■ 「アキラ地雷博物館・日本人応援団」について

同博物館には、日本人・川広肇さんが、ボランティアガイドとして活躍されています。

また川広さんは、カンボジアにおける地雷撤去活動、地雷博物館の運営、館内のリリーフ・センターでの地雷被害者や戦争孤児を始めとする多くの子供達の養育といったアキ・ラー氏の活動を支援するため、「アキラ地雷博物館・日本人応援団」を設立/ウェブサイトを立ち上げ、団長としてその活動をサポートしています。

カンボジアでの地雷完全撤去を少しでも早く実現し安全な国を作るため、また一人でも多くの恵まれない子供をリリーフ・センターに受け入れるためには、まだまだ多くの資金が必要です。是非一人でも多くの方に「アキラ氏応援団」に加わっていただき、継続的な資金援助へのご協力を心よりお待ちしております。

※日本人ボランティア 川広肇さんのホームページ:

「アキラ地雷博物館・日本人応援団」 <http://akira-landminefree.org>

